

大阪・関西万博感染症情報解析センターについて

大阪・関西万博感染症情報解析センターとは

大阪府及び大阪市で構成する「2025年大阪・関西万博推進本部医療衛生部会」が設置。

大阪・関西万博の安全・安心な開催に向け、感染症情報を幅広く集約し、リスク評価の上、関係機関へのフィードバックや一般住民等への情報発信を行い、府内の感染症対策向上を図る。

設置運営	大阪健康安全基盤研究所に執務室を置き、同所が運営 (センター長:同所公衆衛生部長)
構成員 (4者職員 で構成)	大阪府(健康医療部保健医療室感染症対策課) 大阪市(健康局大阪市保健所感染症対策課) 大阪健康安全基盤研究所(公衆衛生部健康危機管理課) 国立感染症研究所(FETP、実地疫学研究センター) ^{※1}
運用期間	R7.1.14~11.30 (終了時期は、変更の可能性あり)
主な業務	① <u>強化サーベイランス</u> による感染症の探知、情報収集 ② 感染症情報の <u>解析・リスク評価</u> ③ <u>保健所や万博協会^{※2}へフィードバック</u> (連携強化) ④ <u>一般住民、来場者等への情報発信</u>

○大安研以外の構成員は
常時配置せず

○構成員は計22名
※R7年1月14日現在

※1)R7.4月以降は、国立健康危機管理研究機構
(JIHS)の担当部署
※2)公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

強化サーベイランス・センター業務の効果

感染予防・意識向上等



一般住民等

ホームページ
情報発信

大阪・関西万博
感染症情報解析センター

感染拡大や重症例発生等の
リスク評価を実施

情報集約

フィード
バック



万博関係者や参加者へ
注意喚起・啓発等

万博
協会



医療機関へ情報提供
疫学調査等に活用等



強化サーベイランス(様々な角度から万博に影響する感染症情報を探知)

万博関連情報の探知強化

府内外を問わず、万博関係者・来場者の感染症患者情報を収集
(感染症法による医師の発生届に、万博関連の情報を記載)

会場内の感染症兆候探知

万博協会と連携し、①や②から会場内での感染症発生の兆候等を探知
①万博関係者の健康管理情報 ②会場内の医療救護施設等の診療情報

蚊媒介病原体の探知強化

会場内や府内各所で捕獲された蚊を対象に実施する蚊媒介ウイルス
検査の結果を収集(府・保健所設置市のサーベイランス事業の結果を集約)

国内外メディア情報収集

万博に影響のある国内外の感染症に関するメディア情報を収集

治療薬処方情報の収集

抗インフルエンザ薬等の処方数による推計患者数を収集
(日本医師会、日本薬剤師会、日本大学薬学部薬学研究科、(株)EMシステムズが共同運用し、公開している
薬局サーベイランスから収集)